

# 須坂市では、移住相談会での相談者が 12月1日の相談会で500組になりました！

～信州須坂移住支援チーム発足（H26）以来、相談内容を集計し結果を公表します～

- 1 働き盛り世代「20～40代」の相談が全体の約8割を占めています
- 2 移住後の生活基盤は「企業への就職」が65%で、転職移住を希望しています
- 3 多くの移住希望者は移住後の住居は賃貸（一軒家・アパート）を希望しています
- 4 移住理由として都会での働き方や子育て環境の改善を求めています

このたび、**移住相談会等での相談受付組数が500組**を越えました。須坂市政策推進課に信州須坂移住支援チームが発足した平成26年度以降、東京・大阪・名古屋で信州須坂移住支援チームが開催する移住相談会や県が主催するセミナー等に参加。移住希望者と直接お会いしじっくりと相談を行い、移住希望者ニーズを汲み取り、**移住体験ツアーや移住体験ハウスの整備、空き家バンクによる住居の提供、最近では移住者受入協力求人企業と住居をセットで紹介する「移住支援信州須坂モデル」の取組など、須坂市の移住施策へと反映させてきました。**平成26年以降、**移住支援チームサポートによる移住者数は現在143人**となっています。

移住相談会では、相談者を対象に移住相談カードを記入してもらい、一組1時間以上をかけて相談をしています。これまで相談カードに記入していただいた方を中心に相談内容を集計しました。集計結果から、須坂市への移住を検討している方の特徴をつかむことで、既に事業を展開している「移住支援信州須坂モデル」のバージョンアップに加え、**今後の須坂市の移住支援事業の方向性、移住施策へと活かしていきたいと考えております。**

## 須坂市移住相談カード

※下記にご記入下さい

ふりがな	性別	男・女	年齢	歳
氏名				
住所	〒	都道府県	市区町村	
連絡先	電話番号（携帯可）	-	-	
	E-Mail			
現在の状況 ○で囲む	1. 在職中（内容： ） ・ 2. 求職中 ・ 3. 学生 4. その他（ ）			
移住先の 家族構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども（人 歳） 4. 本人と子ども（人 歳） 5. その他（具体的に） [ ]			
移住の 動機・目的				
須坂市の 希望理由				
移住を希望 する時期	1年以内 ・ 3年以内 ・ 未定	他に検討している 地域		
移住先での 生活基盤	1. 企業等への就職（希望する業種： ） 2. 農業 3. 起業・創業 4. 自営業 5. 年金等 6. その他（ ）			
移住先での 希望物件	1. 一軒家（賃貸： 円ぐらい ・ 購入： 新築・中古 円ぐらい） 2. アパート（ 円ぐらい） ※ペット（いる・いない）			
車の免許	あり・なし	車の所有	あり・なし	
本セミナー 又は須坂市 を知ったきっかけ	□ホームページ（□須坂市移住サイト □家園信州 □ふるさと回帰支援センター） □全国移住ナビ □JOIN □その他 [ ] □相談窓口（□銀座 NAGANO □ふるさと回帰支援センター □その他 [ ]）			
須坂市配属の「移住応援メルマガ」を希望しますか？	希望する ・ 希望しない			
担当者 記入欄				
相談日	令和 年 月 日（ ）	相談会名	担当者	加藤・豊田



### ▲東京での移住相談会の様子

一組あたり1時間～1時間30分じっくり時間をかけ、移住が決まるまで複数回相談に応じ、須坂市への移住へとお繋ぎしています。

相談者へ移住相談カードへ記入をお願いします。月2回のメルマガへ登録し次回の相談・ツアーへと繋げています。

# 1 セミナー・相談会等相談者数

	回数	組数	人数
H26年度	13	30	60
H27年度	19	81	133
H28年度	34	105	148
H29年度	27	114	164
H30年度	31	103	141
R1年度	26	67	102
合計	150	500	748

※R1年度は、12月1日現在

たとえば・・・

★H30年度は年31回の相談会を実施しました！

- ・須坂市個別相談会 14回
- ・長野地域連携中枢都市圏セミナー 5回
- ・長野県主催のセミナーへ参加 7回
- ・全国規模の移住セミナーへ参加 5回

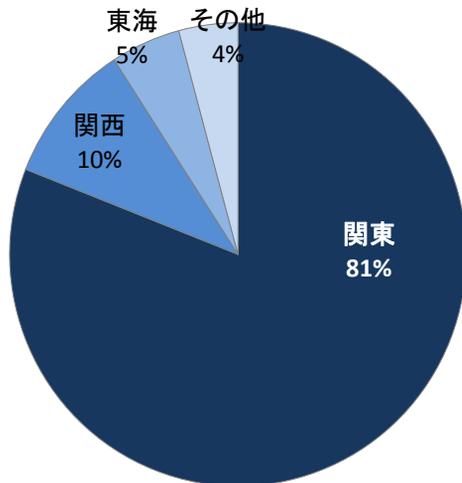
※平均面談件数... 1回の相談会平均3.3組

※平均面談回数... 年度平均24回

●相談会開催の目的

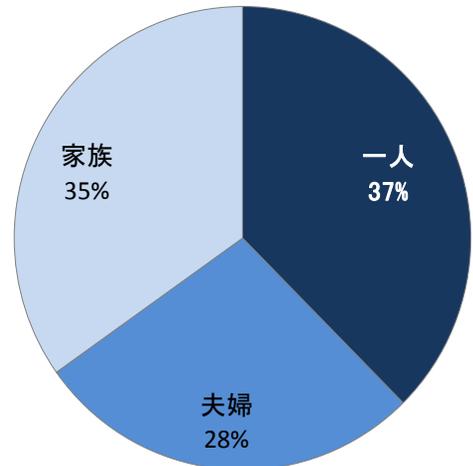
- ・移住希望者からの相談に対応！
- ・須坂市の移住支援事業を伝える！
- ・移住希望者からダイレクトにニーズを汲み取り移住支援事業に活かす！

## 2 相談者の居住地



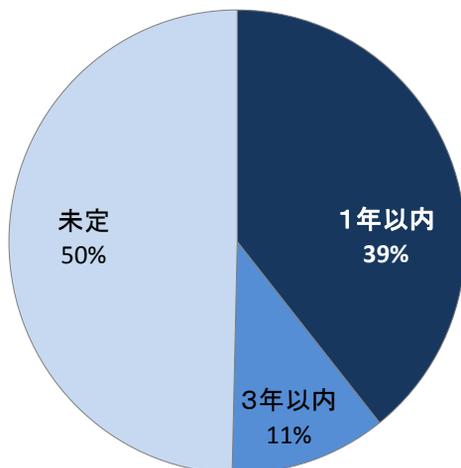
⇒首都圏からの移住を積極的に推進

## 3 移住先での家族構成



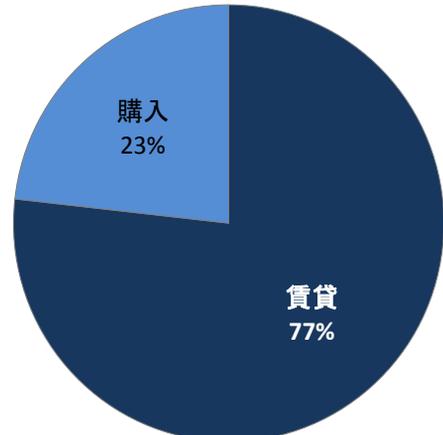
⇒家族構成に応じた生活環境の情報を提供

## 4 移住を希望する時期



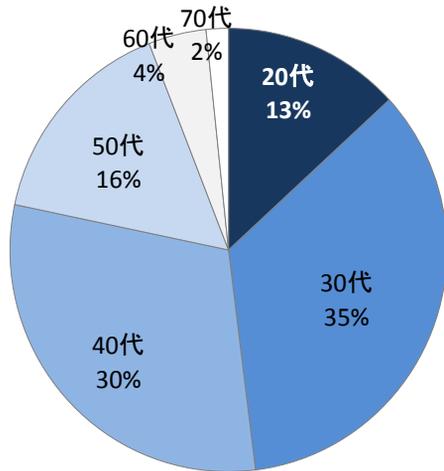
⇒1年以内の移住希望者には具体的な受皿の情報が必要

## 5 移住先での希望物件



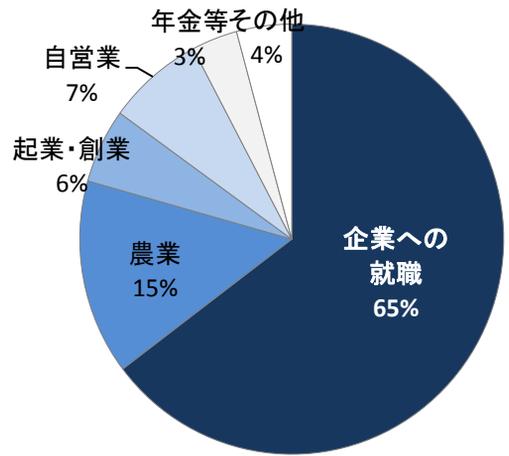
⇒空き家バンク事業では売買よりも賃貸物件の確保が重要となる

## 6 移住希望者の年代



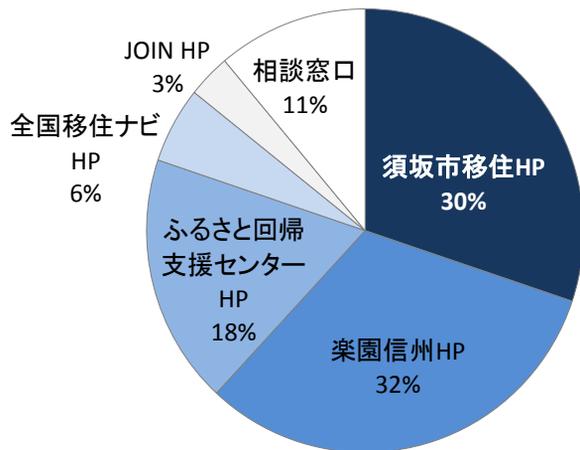
⇒年代や性別、生活スタイルに対応した相談が必要

## 7 移住先での生活基盤



⇒移住希望者にとって仕事の情報は最も重要視しており、求人企業の確保は欠かせない

## 8 相談会を知ったきっかけ



⇒各種媒体を活用したインターネットによる情報提供が相談会集客のカギになる。

### 相談者のニーズから生まれた「移住支援信州須坂モデル」

これまでの相談から、多くの移住希望者にとって**移住先での仕事を再重要視している**ことから、平成29年6月からは、「**移住支援信州須坂モデル**」をスタート。

移住・定住アドバイザーが移住者の受け入れに協力的な企業を開拓、移住希望者に対し、移住相談や移住体験ツアーを通し**仕事や住居をパッケージで提供し移住希望者の不安の解消とスピーディーな移住へと繋げています。**

現在、製造業やサービス業、介護や食品関連など**移住者受入協力求人企業は約30社**まで増え、**移住者×企業×地域の三方よしの事業**となります。

・この取組は、全国的にも珍しく「田舎暮らしの本」で紹介

## 9 移住を検討している理由

### 〈自然環境に憧れて〉

- ・夫婦で定年後は悠々自適な暮らしが希望。ほどよい自然がある場所がいい(60代・男性)
- ・ナガノパープルを初めて食べた衝撃が強く就農を希望(40代・女性)

### 〈より良い子育て環境を求めて〉

- ・子育て環境を求め移住を検討している(30代・女性)
- ・都会は子育てがしやすい場所ではないので地域コミュニティがある環境で子育てをしたい(30代・女性)

### 〈今の仕事環境を変えたい〉

- ・自然のあるところで仕事をみつめたい(20代・男性)
- ・通勤時間1時間かかる。満員電車はもうイヤ。移住も検討したい(30代・男性)
- ・とにかく忙しい。山登りが好きで自然の中で子育てもしたい(30代・男性)
- ・人間らしい環境のもとで暮らしたい。地べたに触れるような生活をするべき(50代・男性)

### 〈今後の人生を考えて〉

- ・本当にこの先も東京に住み続けるのか疑問を感じるようになった(30代・男性)
- ・終電に間に合うかの生活をしていて、この先の人生が見えない(20代・男性)

担当連絡先：須坂市総務部政策推進課  
信州須坂移住支援チーム

清水 秀一（課長） 加藤 広明（担当者）

電話 026-248-9017（課専用）

FAX 026-246-0750

電子メール iju@city.suzaka.nagano.jp